

こもろ 市議会だより

No. **162**
平成27.10.21



9月定例会

12月定例会は、11月24日(火)開会の予定です



千曲小学校 運動会

**平成26年度
決算を認定**

主な内容

- 特集 平成26年度決算報告 …… 2～3 ページ
- 9月定例会の概要
表決の結果 …… 4～5 ページ
- 常任委員会報告 …… 6～7 ページ
- 代表質問 (6名) …… 8～12 ページ
- 個人質問 (12名) …… 12～18 ページ
- 議員研修会報告 …… 18 ページ
- まち再生特別委員会報告
議会制度改革検討委員会報告 …… 19 ページ
- 議会報告会開催案内
傍聴席・編集後記 …… 20 ページ

一般会計

平成26年度決算

過去最大 総額294億円の決算を認定

特別会計

平成26年度
決算の概要

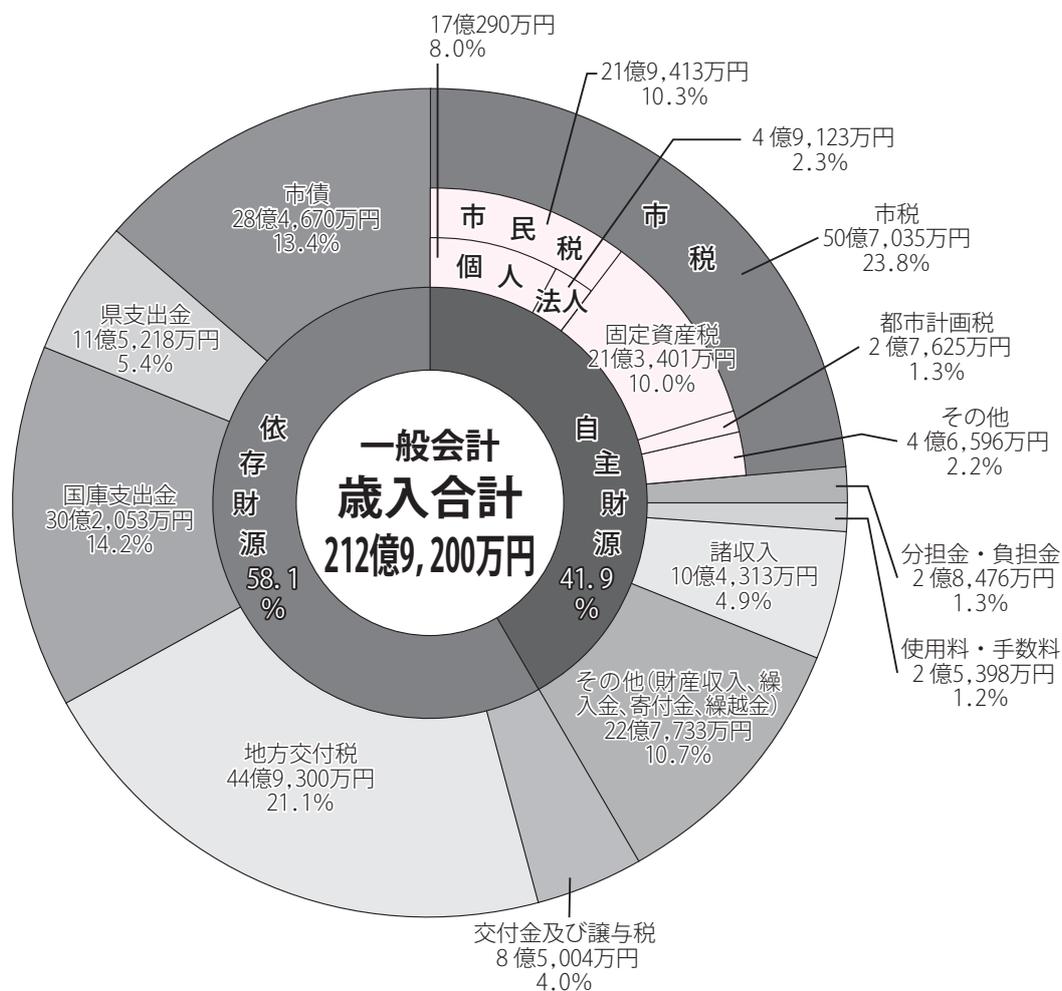
大型重点事業が実施段階を迎え、歳出では投資的経費が大幅に伸び、歳入でも基金繰り入れや起債額が大幅に増加したことにより、歳入・歳出ともに過去最大規模となりました。

一般会計の歳入総額は、212億9千200万円、前年度比26・6%増、歳出総額は203億4千781万円前年度比25・9%の増となりました。財政の健全化の指標となる、実質公債費比率は、前年度と比べ0・5ポイント上昇の10・1%となり、19市中低い方から14番目となっています。

予算の効率的な執行や経費の節減により、財政指標は概ね良好と判断される水準を維持することができましたが、健全性や安定性を保障するものではなく、引き続き効率的な市政経営が必要です。

一般会計 歳入総額 212億9,200万円

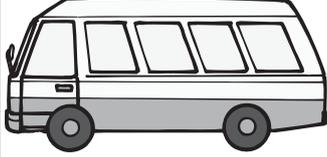
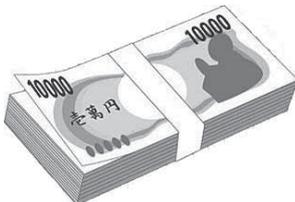
歳入



【自主財源】 市が自主的に確保できる財源(使い道は自由)
 【依存財源】 使い道や金額が定められて交付される財源
 【都市計画税】 公園・道路・下水道などの都市計画事業に充てられる目的税
 【交付金・譲与税】 国や県が徴収した税を市町村に配分するもの
 【地方交付税】 地方公共団体間の財源の不均衡を調整し、すべての地方公共団体が一定水準の行政サービスを提供できるように国から交付されるもの
 【国庫支出金・県支出金】 特定の事務事業に対し使い道を定めて国・県から交付されるもの
 【市債】 臨時的に多額の費用が必要となるときに、地方公共団体が国や銀行などから借り入れる資金

一般会計 歳出総額 203億4,781万円

政策別の支出状況（市民一人当たり468,670円の支出になります）

<p>1 子育て・教育 21億3,201万1千円 一人当たり49,106円</p> 	<p>2 環境 26億5,851万5千円 一人当たり61,233円</p> 	<p>3 健康・福祉 47億9,821万9千円 一人当たり110,517円</p> 	<p>4 危機管理・生活基盤整備 19億2,934万円 一人当たり44,438円</p>  <p>こもろ愛のりくん</p>
<p>5 産業・交流 20億6,422万2千円 一人当たり47,545円</p> 	<p>6 協働 8,805万8千円 一人当たり2,028円</p> 	<p>7 行政経営 66億7,744万7千円 一人当たり153,801円</p> 	<p>8 (内) 借金返済 (17億3,043万7千円) (一人当たり39,857円)</p> 

※人口43,416人で計算（平成27年3月1日現在外国籍住民を含む）

平成26年度 各会計別決算状況

会計名		歳入決算額	歳出決算額	
特別会計	公平委員会	24万円	22万円	
	国民健康保険事業	47億9,290万円	47億3,929万円	
	後期高齢者医療	4億644万円	4億354万円	
	介護保険事業	36億8,316万円	35億9,266万円	
	奨学資金	325万円	325万円	
	住宅新築資金等貸付事業	5,669万円	788万円	
	農業集落排水事業	2億6,237万円	2億5,637万円	
	小諸公園事業	1億2,860万円	1億1,314万円	
	高峰財産区	298万円	12万円	
	御牧ヶ原財産区	203万円	127万円	
	古牧財産区	246万円	22万円	
	滋野財産区	48万円	3万円	
乗瀬地区市有地管理事業	2万円	2万円		
企業会計	水道事業	収益的収支	9億8,309万円	8億1,988万円
		資本的収支	2億3,236万円	5億2,845万円
	公共下水道事業	収益的収支	15億2,921万円	12億4,189万円
		資本的収支	6億3,451万円	12億7,985万円

平成26年度決算を認定 公共交通システムの試験運行に係る補正予算などを可決

平成27年第5回9月定例会は、8月25日から、9月17日の24日間の日程で開かれました。本定例会に理事者から提出された案件は、決算、補正予算関係、人事、条例が36件と土地開発公社経営状況1件で、それぞれ同意、可決、認定しました。また、議会改革を目的とした新たな委員会を設置するために、小諸市議会会議規則の一部を改正する議案を議員提出議案として提出し、可決しました。

主な議案

◆決算

平成26年度小諸市一般会計歳入歳出決算認定について

過去最大となった平成26年度決算について、「第9次基本計画の実績に対する行政の自己評価」及び「総合計画審議会における第三者評価」を踏まえて審査を行いました。

一般会計の決算認定では、人権同和政策総務費及び人権同和教育費で討論があり、採決の結果賛成多数で認定しました。

小諸市公平委員会等特別会計ほか12の特別会計と2つの企業会計については、全会一致で認定し

ました。

◆補正予算

平成27年度小諸市一般会計補正予算(第3号)

今定例会では、一般会計の歳入歳出予算をそれぞれ2億5千200万円減額し、予算の総額を歳入歳出それぞれ193億9千万円とする補正予算案が提出され、すべて可決しました。

可決した補正予算の主なものは、次のとおりです。

○民生費では、旧保健センターの跡利用として、10月から「総合福祉センター」を設置するために必要な経費として、188万円の追加補正を可決しました。

他に、既存の介護施設にスプリングカー設備を整備するための経費として、270万円の増額補正を可決しました。

○都市計画費の小諸すみれ号運行事業では、公共交通の見直しに伴い、試験運行期間の経費の増額分などについて、小諸市コミュニティ交通協議会負担金として、2千500万円の増額補正を可決しました。



○商工費では、観光振興事業として、外国人旅行者の受入れ環境を整備するために、無線LANの整備希望があった民間宿

泊施設7施設に対する補助金210万円の追加補正を可決しました。

○教育費の文化財保護活用事業では、指定文化財の説明看板や標柱の修繕また、旧小諸本陣の修繕計画調査委託料等のために231万円の増額補正を可決しました。

平成27年度小諸公園事業特別会計補正予算(第1号)

懐古園整備事業として、懐古園内の危険木の除去及び落石の心配がある崖に防護柵を設置するため、520万円の増額補正を可決しました。

◆条例

今定例会では9件の条例議案を可決しました。可決した主な条例は、次のとおりです。

小諸市個人情報保護条例の一部を改正する条例

行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号(マイナンバー)

の利用等に関する法律(番号法)の施行にとまない、特定個人情報等の定義の追加、個人情報の範囲の拡大、特定個人情報の利用の制限等についての改正を行うものです。

小諸市手数料徴収条例の一部を改正する条例

前述の番号法の施行により、10月から個人番号通知カードの送付が始まることから、関連する手数料について改正を行うものです。

小諸市廃棄物の処理及び再生利用の促進に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例

新ごみ焼却施設「クリーンヒルこもろ」の浴場を一般開放するため、施設利用料等を定めるものです。1月4日から利用を開始し、平日の午前11時から午後5時まで、利用料は100円です。



新庁舎地下駐車場

小諸市野岸の丘総合福祉センター条例

保健センターとして利用していた建物を総合福祉センターとして高齢者福祉、障害者福祉等に利用するため、名称及び位置、事業等の必要事項を定めるものです。

小諸市宮有料駐車場条例の一部を改正する条例

新市庁舎の地下駐車場及び赤坂駐車場の供用開始にともない、駐車料金等を定め、2時間までは無料、2時間を超えると1時間ごとに100円を加算するものです。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例

新たな教育委員会制度の法律の施行により、教育委員長と教育長が一本化されたため、前教育長の任期満了にともない、関係条例の整備を行うものです。

人事

今定例会では、新たな教育委員会制度による教育長として、これまで教育長であった柳沢氏を同意しました。

小諸市教育委員会教育長

柳沢 恵二氏 66歳

任期は、平成27年10月3日から平成30年10月2日までの3年間です。

討論

平成26年度小諸市一般会計歳入歳出決算認定について

人権政策費の決算の認定について、次のとおり討論がありました。(採決の結果、認定しました。各議員の表決状況は下記表のとおり)

反対討論

平成26年度同和関連予算も反対してきました。決算に当たり部落解放同盟小諸市協議会補助金600万円、全日本同和小諸支部への委託料45万円など、678万円余は使われ方がよく把握されていないこと、本来の補助金の目的がどのように生かされたかの検証がされていないなど不透明感が残るものなので認められません。人権問題はいじめ、不登校、国籍、格差社会の拡大など様々あります。同和問題を特別扱いせず、人権問題はすべての分野で広く行われるべきです。

賛成討論

戸籍謄本等の不正取得インターネット上での人権侵害、不動産取引に関連して部落差別等につながる情報の収集等、人権を取り巻く環境は大変厳しい状況にある中、小諸市の人権政策、人権教育の中心である同和問題は、当事者の主体的な活動が不可欠であり、その活動を支援する運動団体への補助金等も適切です。部落差別が依然として残る社会で、差別を受けても負けない、差別撤廃に向けて力強く生きる素地づくりとしての解放子ども会への支出も適切であったと理解しています。



表決の様子

議案に対する表決状況

本欄に記載以外の議案については全会一致で原案可決されました。☉は賛成、☒は反対を表しています。

議案名	高橋公	土屋利江	掛川剛	小林一彦	丸山正昭	山浦利夫	早川聖	竹内健一	柏木今朝男	神津眞美子	清水喜久男	依田善典	中村憲次	小林重太郎	田中寿光	福島鶴子	柏木博美	林稔
議案第73号 平成26年度小諸市一般会計歳入歳出決算認定について ※1	☉	☉	☒	☉	☉	☉	☒	☉	☉	☉	☉	☉	☉	☉	☉	☉	☒	☉

※1 議長は表決には加わりません。

新しい議場へ傍聴にお越しく下さい

傍聴席から理事者・議員それぞれの表情が見渡せる新しい様式の議場になりました。また、車いす利用者は、エレベーターで傍聴席まで直接入れます。11月24日には、新議場で初めての12月定例会が開会します。皆様お誘いあわせのうえ、傍聴にお越しく下さい。(一般質問12月2日～4日、委員会12月7日～10日、最終日12月15日)

9月7・8日
福祉環境
委員会
報告

■平成26年度小諸市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について

質疑

国保税の収納率についての見解はどうか。

答弁

税務課との連携により、収納率が前年度比0.7%上昇できました。平成27年度から税率が引き上げられましたが、現在、昨年同期を7千万円ほど上回っています。

■平成26年度小諸市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について

質疑

第9次基本計画の施策にある「高齢者が健康で地域で安心して暮らせるための自立支援を進めます」について、具体的な取り組みは何か。

答弁

高齢化が進む中、健康づくり、介護予防を目指

した啓発事業を行い、延べ1千296回、2万3千562人に介護に陥らないための啓発を行いました。

質疑

地域包括支援センターは、具体的に機能強化として何に取り組むのか。

答弁

相談事業強化のため相談員を1名配置し、将来的には、支援センターの数を増やす検討もします。

■平成26年度小諸市一般会計歳入歳出決算認定について

質疑

マイナンバー制度の市民への周知方法は。

答弁

来年1月にマイナンバーカードが発行になりますが、今年の10月5日以降に通知カードを簡易書留により個人へ送付します。制度自体を知らない市民への広報は重要と認識しており、9月18日には、周知用のお知らせ文を全戸配付する予定です。

質疑

高齢者福祉センターの施設の老朽化が進行して

いるが、対策はどうか。

答弁

今後の方針については白紙ですが、応急的な修繕は対応していきたい。



高齢者福祉センター糠塚園

■平成26年度小諸市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について

質疑

現在の状況から見ても、今後の運営状況の見通しはどうか。

答弁

長野県が広域連合単位で経営を行っています。市町村から支援金を集めています。被保険者数の割合に応じて出しています。今後、団塊の世代が後期高齢者となっていく中でも、財政運営安定支援交付金制度により安

定的な経営が可能なのではないかと考えています。

質疑

起債償還について、今後の見通しはどうか。

答弁

平成48年度末に起債償還を終えるシミュレーションを行っており、概ねそのとおりに行くの見込んでいます。今後、処理施設の老朽化が進む中、将来的には、公共下水道へつなぐことを検討しています。

■小諸市水道事業会計利益処分及び決算認定について

質疑

統合された小諸市外二市御牧ヶ原水道組合について、整備計画はどうか。

答弁

給水区域の皆さんの生活に直結することから、地元の方の要望を聞き、緊急性、優先性を考慮しながら対応していきます。

9月8・9日
経済建設
委員会
報告

■平成26年度小諸市公園事業特別会計歳入歳出決算認定について

質疑

公園費について遊園地独自、また動物園独自の入園者数及び収支決算の概算をつかんでいるか。

答弁

各園内業務、動物園、遊園地のそれぞれの歳入歳出を分け、仮の経営分析を行っています。遊園地は大幅に利益が上がっています。動物園は年間3千500万円の支出があり、全体の経営の足を引っ張っているのが現状です。経営分析をして懐古園全体のあり方の方向付けをしていきます。

■小諸市営有料駐車場条例の一部を改正する条例について

質疑

赤坂駐車場鉄骨のハリ下から舗装まで2.1mあり、高さ2.3mの車が入れると思うがなぜ2.1m制限にしたのか。

答弁

駐車場設計施工指針を根拠に設計しており、1階部分は2.3mの車は入れるが、2階に上がる斜路が2.1mで設計してあるためです。



赤坂駐車場（入口）

■平成26年度小諸市一般会計歳入歳出決算認定について

質疑

都市計画マスタープランの策定は、いつになるか。

答弁

総合計画の進め方を見ながら一緒に進めていますが、今年度中にできる予定で、2月の都市計画審議会に掛け、年度末までにマスタープランを策定します。

質疑

伐倒薫蒸処理は松くい虫被害の拡大を防ぐために取り組んでいるが、その効果は出ているのか、また伐倒した木が長期間放置されているものは処理しないのか。

答弁

処理はしているが被害が止められず、効果が出ていないのが現状であり、今後、この事業を継続するのかどうかも含めて検討します。また、伐倒した木で、個人の山林で処理したものは、個人で処理してもらいます。

質疑

通学路沿いに建っている老朽化した家から、瓦が落ちてくる危険な場所があるがその対応と、空き家対策特別措置法が施行された中で、行政として今後どのような対応をしていくのか。

答弁

緊急で対応をしなければならぬ場所は、コーンやバーを置いて頭上注意という表記をしています。道路敷きの片側通行

を掛けるか、また建物除去をしなければならぬのか、教育委員会でも通学路の変更をしなければならぬのか悩んでいる状況です。空き家対策特別措置法については、長野県が「県空き家対策市町村連絡会」を設置し、県内10広域で具体的な対策をガイドラインに基づき取り組んでいきます。

当面、緊急な措置が必要な状況であれば、市の単費を使っても除却しなければならぬと考えています。個人の財産を公金で除去することは公平性に欠けるため非常に難しい課題です。

■平成27年度小諸市一般会計補正予算(第3号)

質疑

六次産業化推進員には何をしてもらうのか。

答弁

六次産業化は農産物の生産から流通・経営まで考えなければならぬ。全体に精通している方をお願いし、農業が儲かるための仕組みづくりに助言をいただきます。

質疑

生産から流通、販売まで精通した方ということになると一人で大丈夫か。

答弁

現段階では流通に至る仕組み作りを重点的に考えており、必要に応じてコンサルタントへの委託も検討しています。

9月9・10日
**総務文教
委員会**
報告

質疑

■平成26年度小諸市一般会計歳入歳出決算認定について

成果説明書において、子育てしやすい環境づくりの満足度が目標を達成しなかった理由は。

答弁

目標値は市民意識調査の「不満足」と「やや不満」の合計値であり、不満の内容の把握ができなかったため、今後は子育て世代へのニーズ調査や聞き取り等を行い、不満足度

の改善に努めます。

質疑

防犯灯の設置状況はどうか。

答弁

26年度は区からの申請が88箇所あったが、現場を確認した結果、58灯を設置しました。

質疑

市税収納率が向上しているが、今後の収納対策はどうか。

答弁

新たな納税方法として、クレジットカードによるクレジットカードによる納税等で24時間納付を可能にする方法を検討しています。

るので、臨時保育士の待遇改善が必要ではないか。

答弁

小諸市は正規職員の比率が非常に低いです。本来であれば担任は正規保育士が望ましいと考えますが、当面は臨時保育士の待遇改善を図りたいと考えています。

質疑

消防通信の一本化が図られたが、本部受信により混乱したケースはないか。また、通報の仕方の周知はどうか。

答弁

通信の一本化により特に混乱したケースはありません。広域の広報誌やケーブルテレビ等で通信体制が変わることや通報の仕方について周知を図っています。

質疑

新図書館についてはワークショップを重ねて検討してきたが、どのような変更点があるのか。

答弁

開館時間の延長が大きな変更点で、平日は午前9時から午後7時まで、

ただし6月から9月までは午後8時まで開館します。また、休館日を月曜日から木曜日に変更します。



質疑

■平成27年度小諸市一般会計補正予算(第3号)

食の安全という観点から給食室関係で予算措置されたことは評価するが、学校の給食室関係で残された課題は何か。

答弁

学校の建物自体が老朽化しており、給食室の調理器具については、古いものは部品が無くなり修理ができません。また、食器洗浄機などは水道のカルキが付着し圧が弱くなっています。

小諸市創生への「総合戦略」策定に向けて



公明党
柏木今朝男

広域的連携で新たな観光拠点をつくりたいと現在検討中です。

質問

②CCRCによって、人口が増え地域経済が活性化され雇用創出、税収増加へと繋がります。総合戦略に盛り込むべきでは。

企画課長

高齢者の方が多くなってくる一面もあり、検討してまいります。

質問

総合戦略の(①安定した雇用の創出②人の流れの転換③若者の結婚出産子育ての希望の実現④時代に合った地域づくり、以下①④と略す)の考え方は。

市長

①6次産業化や観光地域づくり等②大学進学世代の転出策③運動遊び事業や子育て支援等④協働のまちづくりの推進などにより地方創生に取り組みます。

質問

①安中市の広域地域の強みを最大に生かし、民間の稼ぐ力を活用して人材確保に知恵を結集する事例を参考にはしてはどうか。

市長

足並みが揃わない状況下で、どうまとめいくか検討中です。

小諸市の行政運営はどうか

(財政計画・歳入確保・歳出削減)



新政会
清水喜久男

市長

現在新築で50万円、中古で30万円の補助と中学生以下の子どもが同居だと一人5万円で補助していますが、もう少し手厚い補助となるよう検討します。

質問

ふるさと納税(応援寄付金)も重要な財源です。他市町村ではお礼として、半額相当の感謝券と物産品を送っています。感謝券は旅館や民宿で利用できます。観光をして小諸市内のホテルや旅館で宿泊するほか、西小諸の糠地では民宿もあり「ねんぼう岩」や「みはらし交流館」などが都会の人には人気があると考えます。観光振興という面も含めて検討できないか。

企画課長

これまで財政試算という形で重要事業を進めるに当たり財政が大丈夫ということだけでしたが、歳出削減策等を定めた財政計画が必要と考えます。

質問

歳入確保を考えると、定住者を増やすことが必要です。そのために定住促進住宅の取得費等補助の増額の検討はどうか。

市長

ふるさと納税は自主財源確保に有効な制度です。宿泊券や小諸の特産品をいろいろな形で選べる工夫をするともに、お礼の額についても検討します。

質問

具体的な内容も盛り込みながらの紹介が必要だと思えます。

総務部長

③若い世代への切れ目のない支援とその内容を内外に積極的にPRする事が必要ではないか。

財政課長

④は住民の健康長寿策の一つとして浅間山麓高地トレーニングエリア構想を総合戦略に盛り込み地域のリーダーシップを小諸が取っていくべきではないか。

市長

足並みが揃わない状況下で、どうまとめいくか検討中です。

質問

ふるさと納税は自主財源確保に有効な制度です。宿泊券や小諸の特産品をいろいろな形で選べる工夫をするともに、お礼の額についても検討します。

広報こもろ9月号で、小諸市は特定健診受診率が19市中最下位で、受診しない方は受診している方より1万6千円弱医療費が高いとの掲載がありました。そうなる国保事業運営に支障を来すので、受診率が上がるPRとジェネリック医薬品使用のPRが必要ではないか。

民生部長

小諸市の受診率は県下でも低いですが、一人当たりの国保の医療費は19市中で一番低いという状況です。これは小諸市の特徴であり、男性の健康寿命は19市中で一番ぐらいい長いので医療費が低いと考えますが、特定健診受診とジェネリック医薬品使用のPRをしていきます。

質問

厳しい財政状況下であるので、歳出を削減するため出張時に出ている日当の見直しをすべきではないか。

市長

出張時の日当は、平成15年度から県内出張時の日当を廃止するなど実態に合った見直しを行っています。引き続き研究したいと考えています。

新公共交通システム 交通弱者切り捨てにならないように

質問

総合計画策定を市民との協働で目指しているが。

市長

市民とともに基本構想を策定するのは初めての取り組みです。その過程の中では、様々な課題があると思うが、市民の皆様とともに取り組みを進めていきたいと考えています。

質問

計画づくりに集まっているのは各団体の代表がほとんどで、年がかわれば顔ぶれも変わります。計画を継続的に進めていくためには、門戸を広く開いて多くの人に参加してもらう取り組みが必要と考えるがどうか。

総務部長

地区によつては広く参加できるように取組みもしています。計画は作る事が目的ではないので、それをどう実施し、さらに構想で描いた姿がどう実現されているかを検証する会議体を継続させていきたいです。そこに多くの人が参加できる仕組みなどを検討していきたいです。

質問

新公共交通システム試験運行に当たり、住民要望は取り入れられているか。

市長

市民アンケートや説明会での意見を反映させて運行形態等を決めています。

質問

10人乗りのジャンボタクシーでは狭い道には入れず玄関先まで行けません。3月議会でのことについて質問した際、狭い道にも入れるセダン型タクシーの利用も検討するとの回答でしたが、検討結果はどうなったか。

建設部長

まずスタートさせることを優先しました。試験運行していく中で再度検討していきます。

質問

玄関先まで来るなら利便性が向上し、運賃が100円から300円になるという説明がきます。それが不利なら利便性の向上にはなりません。公共交通システムの見直しに合わせるの便乗値上げだと思いがどうか。

建設部長

全国の地方公共交通は運賃だけでは営業できないという部分があります。利用者を増やして運賃収入を上げることも大切だと考えます。

質問

シルバーパスなど負担軽減措置の検討をしたらどうか。

建設部長

今の時点ではそういう措置は取らずに運行したいと考えています。

意見

利便性の向上よりも経費削減が優先されています。交通弱者の切り捨てにならないような対応を強く求めます。



日本共産党
掛 川 剛

平成26年度決算について 企業誘致と魅力ある就業の場の創出を



市誠会
山浦利夫

質問

平成26年度の決算をどう捉えているか。

市長

大型重点事業が実施段階を迎えたことから過去最大規模の決算となりました。基金残高は減少し、起債残高は増加しましたが、財政指標は概ね良好とされる水準を維持できました。一定の成果を上げることができたと受け止めています。

質問

「実質公債費比率」は、年々上昇していくと見込んでいます。健全財政の維持は大丈夫か。

総務部長

長期財政試算ではピーク時で

14%という試算であり、特段財政運営に支障をきたす状況にはならないと考えています。

質問

長期財政試算では、大型事業終了後も財源不足による基金繰入が継続されていますが、この状況をどう捉えているか。

総務部長

基金からの繰り入れが恒常的に行われないと収支が均衡しないということは、好ましい状況ではありません。経費の節減や自主財源の確保などにより、これ以上恒常的にならないように取り組んでいきます。

質問

総合戦略の施策を予算にどのように反映していくのか。

市長

総合戦略の施策は第9次基本計画に掲げる施策のうちの人口減少克服と地方創生に関連した施策と位置付けています。各施策の評価等を行う中で新年度予算編成に反映させていきます。

質問

重要な施策の推進には、厳しい財政下であっても、しっかりと対応できる予算付けを行うべきでないか。

総務部長

成果を上げるためには、時として財源・人材など思いきった資源の投資が必要と考えています。

質問

人口減少の克服・地方創生は企業誘致に積極的に取り組む、魅力ある就業の場を創出していくことが重要と考えます。そのため推進体制の整備が必要と思うがどうか。

経済部長

企業誘致は、固定資産税や法人市民税等の一般財源や水道料金確保など全ての財源確保に、また、定住人口増加策としても有効と考えます。体制と予算このことは、戦略的に組み立てていくことが必要と考えています。

質問

新制度に移行した市単道路改良事業等の評価と改善はどうか。

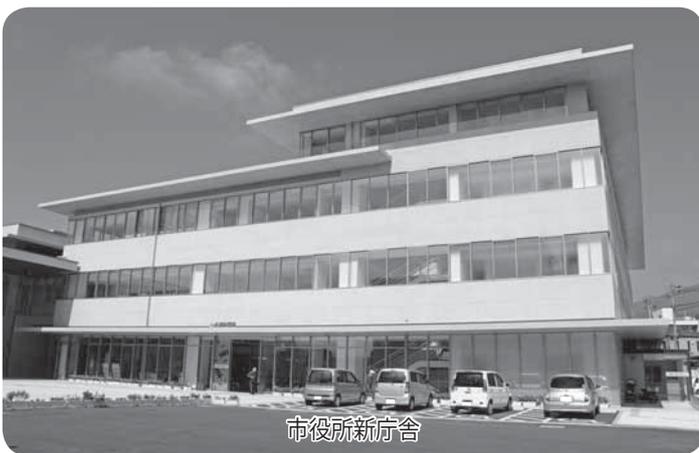
市長

応急補修の迅速化や申請箇所

の順位付けの明確化、事業効果が目に見えることなどの評価をしています。引き続き各区長さんと意見交換を重ねて合意形成を図りながら、より良い制度になるよう改善をしていきます。

意見

各区からの要望は、地域にとって一番生活に密着した事業であり、また、長年の地域課題もあります。弾力的に検討を進めていただくことを要望しておきます。



市役所新庁舎

平成26年度成果指標の評価は 浅間山麓高地トレーニングエリア構想の推進を

質問

各施策の成果指標の実績をどう評価しているか。

市長

目標値は、アウトカム指標でなければならず、今回指標の見直しを行ったことにより、昨年よりは評価自体も改善されたのではないかと考えています。しかしながら、まだ自己評価を行う所管課長の認識が十分でない問題もあり、今後も引き続き実施計画の運用として、マネジメントサイクルを繰り返していく中で、改善を図っていききたいと考えています。

質問

小諸市の「人口ビジョン」に



創正会
田 中 寿 光

ついでどう捉えているか。

市長

小諸市の社会増減における課題を踏まえ、日本創成会議の推計値を基準として、10代後半から20代前半にかけての転出超過を30%抑制し、20代、30代層において、毎年の転入者を60人増加させるといふ条件としました。そうすると平成52年の人口は3万3千700人と推計されます。いずれにしても地方創生の取り組みにおいて重要なことは、人口ビジョン自体でなく、人口ビジョンで設定した数値をいかに実現するかにあります。

質問

地方版総合戦略策定の取り組み状況はどうか。

市長

人口ビジョンで設定した人口の将来展望の数値を実現するために、いかに実行性の高い戦略を策定するかが重要です。本年4月には、小諸市まち・ひと・しごと創生推進本部を設置しま

した。また、推進本部の下部組織として、地方創生関連施策の担当課長を部会員とする、地方版総合戦略検討部会を設置しています。現在は当該検討部会を中心に総合戦略の内容検討を進めており、今後は議会や総合計画審議会からの意見もいただきながら、10月末までに策定していく予定です。

質問

浅間山麓高地トレーニングエリア構想実現に向けて、小諸市としてどう推進していくのか、また推進体制はどうか。

市長

市としては、今後の取り組みの方向性について、ウォーキングを中心とする住民の健康づくりに向けた事業の推進、アスリート等の合宿などの受け入れの支援、高地トレーニング関連施設等の整備という三本の柱に整理しました。当面は、この三本の柱の下に地に足のついた取り組みを着実に実施していくことに力を注ぎ、高地トレーニングエリア構想全体の推進につなげていきたいと考えています。なお、推進体制については、方向

性を三本の柱に整理したことを機に、改めてプロジェクトチームを組織し、関係部署の緊密な連携の下に構想の推進に取り組んでいきます。

質問

構想における標高千mエリアでの施設整備計画はどうか。

市長

小諸市総合運動場は、高地トレーニングエリア構想における千mエリアの拠点施設として位置付けています。今後は、アスリートや地域住民が、より安全で効果的なトレーニングや健康づくりができる環境を提供するため、日本陸上競技連盟や関係団体とも相談しながら、全天候型レーンを含む陸上競技用400mトラックやサッカー場、ウォーキングコース等の整備の検討を進めていきます。そして、それらを活用したウォーキングイベントや健康づくりイベント等を開催し、住民の健康増進につなげる取り組みを進めます。

「まちづくり」は「市民の暮らしづくり」から
透明感のある小諸市をめざして



改革の嵐
福島 鶴子

プレミアム付商品券発行事業者選定条件から、実績と会社概要を削除した理由は何か。
経済部長

部長以下、担当事務局の判断と聞いています。
質問

質問

まちづくりは、市民の暮らしづくりと考えるがどうか。

市長

その通りだと思います。

質問

「まち交大賞」受賞を機に、暮らしづくりに向かうのか。

市長

受賞の有無に拘らず、市民の為に働く事を役目と考えます。

質問

プロポーザル方式の事業者選定で求められるものは何か。

総務部長

公平性、透明性、客観性の確保が必要と考えています。

質問

そこに客観的判断の要素は何か感じられません。透明性に欠けるが、市長の見解はどうか。
市長

公正な判断をしたと考えます。
質問

佐久森林組合長は小諸市民が選出した長野県議会議員が務めています。地方自治法及び公職選挙法では「議員の兼業」を禁じているがどうか考えるか。
選挙管理委員長

議会運営の公正性、事務執行の適正確保の為、地方自治法92条の2で規定されています。又それによる議員の失職、資格決定は、判断を議会が決定することとされており、当委員会は判断する立場にないと考えます。

個人質問

小諸市をAED先進自治体に



高橋 公
(市誠会)

用してオールシーズン外に出すと大体1か所15万円以内と考えますがいかがが。
市長

市長

実際問題として、今24時間対応でないものも含めて、しっかりと検討させていただきたい。
質問

質問

AEDの動作保証温度条件は、摂氏0度から50度です。設置基準は決めた方がいいと思うが。
民生部長

民生部長

これからの保管方法というのは検討していきます。
要望

要望

小諸市もAEDの表示をしっかりとし屋外設置して、AED先進自治体になって下さい。

市長

試算してみても何らかのお返事を差し上げたい。

質問

小中8校と郊外型の保育園など20か所弱に、保温ケースを使



木曾郡大桑村の屋外設置AED

小学校の改築は小諸の将来をいかに描くかと運動する 市民に理解される進め方をすべきだ

質問

小学校の改築は単なる物理的な建て替えではなく、小諸の将来をいかに描くかということと運動します。子どもたちの教育環境の充実を核とし、また市民の意見をしっかりと聞き、進めていくべきです。市民の皆様のこの進め方ならばという理解を得るべきだと思うが、6月答弁以降の進展、変更はあるか。

教育長

今年11月頃から各小学校単位で、誰もが気軽に参加し、今の学校や子どもたちの現状、また子どもたちにどう育ってほしいのかなどを語り合える懇談会を開催していきたい。



小林 重太郎
(改革の嵐)

現在、懇談会に向けた準備や学校規模によるメリットやデメリットを含めたシミュレーションなどの事務を進めているところ です。

質問

新図書館について、どのような基本コンセプト(思い)を持っているか。

教育長

小諸に暮らす皆様が心豊かに生活するためのお手伝いができるように、皆さんの暮らしに役立つ図書館を目指して運営していきたい。

質問

児童コーナーとの関連として、小さな子どもを持つお母さんから、駐車場の天井が低くて入れないという意見がある。西側駐車場は2.3m制限にできないか。

建設部長

西側駐車場については、今、設計段階ということなので、2.3mの車が入れるように検討していきたい。

今後の道路(小規模)補修工事と 飯綱山公園周辺整備をどう考えていくのか

質問

現在の道路管理の職員体制は、どうなっているか。

市長

所管は建設課維持係で、係長以下3名と補修作業業務にあたるシルバー人材センターの業務委託者3名の計6名により、応急補修や緊急対応を実施しています。

質問

調査(道路パトロール)はどうやっているか。

市長

車両や歩行者の交通量の多い路線、季節的な対応を要する路線等、市内全域の計画的なパトロールを実施しています。

質問

今後の補修体制をどのように考えるか。

建設部長

市道は3千371路線あり、940kmあります。現在補修は市で対応しているが、今後、民間委託により早く実施できるようにし、市民が安全安心に通行できるように研究していきます。

質問

飯綱山公園周辺の草刈状況はどうか。また一帯の構想をどのように考えているか。

市長

草刈りについてはシルバー人材センターへ年5回程度、業務委託をしています。小諸八重紅枝垂れの里親の皆様と相談して進めていきます。また、一帯の構想についてはマンズワインを含めた小諸市北西部の観光拠点として、また懐古園に次ぐ桜の名所として、多くの観光客が訪れる公園になることを目指しています。



丸山 正昭
(市誠会)

観光について：観光の拠点、歴史的遺産の保存状態は
全国学力テストの小諸市の児童生徒の成績は



小林 一彦
(市誠会)

質問

着地型観光の拠点、6次産業の拠点として大型の施設があつてほしいと思うがいかがか。

市長

6次産業化の拠点となる施設の整備が急務と考え、7月1日に農林課に6次産業化推進係を新設しました。着地型観光の拠点、また6次産業化の拠点となる施設の必要性については、議員と同様に考えており、単なる大型直売所ではなく、集客できる販売拠点として検討しています。スピード感を持って取り組んでいきたいと考えています。

質問

本陣問屋場の修復はどうか。

教育長

老朽化が著しく大規模な修復工事が早急に必要であることから、修復計画を前倒しして、来年度の国の補助事業の採択に向けた対応を進めています。

質問

富士見城址の最大の見どころである累々と積まれた石垣群がつる草などのために見ることができない。大変残念に思うが。

市長

満足の維持管理ができているとは言いがたい状態だと認識しています。

建設部長

今年度予算の中で業者に委託する部分もあるので、ぜひ早急に対応したいと考えています。

質問

4月に行われた全国学力テストの小諸市の児童生徒の成績は。

教育長

全国平均正答率に比べ小諸市の平均正答率は、実施した3科目ともやや下回っています。

小諸市就労支援センター
「まいさぼ小諸」の充実を



土屋 利江
(公明党)

質問

生活困窮者自立支援法の小諸市としての取り組みはどうか。

市長

小諸市と「まいさぼ小諸」が主体となり支援調整会議を定期的に実施し相談者の支援計画について協議、検討をしています。

質問

まいさぼ小諸の利用状況は。

市長

4月から7月までの新規相談件数は66件で月平均16・5件です。収入の当てがない、求職相談、家計相談、健康相談と多岐にわたる問題を抱えた内容です。

質問

自らSOSを出せない人、窓

口にただり着けない人を早期に見つけるための対策はどうか。

民生部長

まいさぼ小諸について、市民の皆さんにお知らせをして、何かあれば気軽に相談してもらうことを心がけます。

質問

現在の相談支援員で足りているのか。

民生部長

コーディネート的な存在で、足りないとは考えていない。動いていく中で、人員、マンパワーが必要か検討します。

質問

親が困窮者であると子どもの貧困率が上昇しています。特にひとり親家庭が経済的に困窮しているが、小諸市はどうか。

民生部長

ひとり親世帯には、福祉医療制度や県の制度を生かしながら支援してきました。これからも教育委員会とも連携して、支援に努めていきます。

「公共交通の取り組み」「特定空き家の対応」「インフラ整備」はどうか

質問

10月より試験走行が始まる市民ニーズに合った公共交通の取り組みについて、市民への説明をどの様に計画しているのか。

また「愛のりくん」の乗降の待合所には、屋根、テント、またベンチ等の設置対応はどうか。
市長

各区の集会所などで「まちづくり小諸」から昨年実施した市民アンケート調査の結果を踏まえ、細部にわたり丁寧に説明会を実施していきたいです。試験走行を6か月間実施して、その間に利用者から改善すべき点等の声を聞いて、検討をしていきます。



中村 憲次
(新政会)

主な停留所等の待合場所には、雨、雪対応に備え、屋根、ベンチを設置し、また病院内待合所も同様に対応していきたい。

質問

空家対策について、特に特定空家（廃屋）が、通学路など市民の安全安心にもつながる喫緊の課題となっています。どのように行政として対応していくか。

建設部長

空家対策については、法律が5月に施行されたところですが、「特定空家」対応については、個別の案件でもあり、危険な廃屋は早急に検討課題として行政として対応をしていきたい。

質問

小諸養護学校周辺の老朽化した道路整備について、実施の検討はどうか。

建設部長

周辺の道路を整備してから20年間も経過しており、老朽化も激しく、早急な整備対応をしていきたい。

安保関連法案に対する市長の見解は 懐古園を、見せる、楽しませる、拡散してもらう仕組み作りを

質問

安倍政権による安保関連法案は、憲法に基づいて、国家社会を運営するという立憲主義を否定し、憲法9条を根底から破壊する戦争法案そのものです。私は日本を海外で戦争させる国へと変えるこの法案は廃案にすべきではないかと考えるがどうか。
市長

国民に丁寧な説明を十分にしていただき、国会においては慎重な審議を十分に尽くして進めていただきたいと考えています。
質問
積極的平和主義について市長の見解は。



早川 聖
(日本共産党)

市長

平和は本当に大切なことだと思います。

質問

懐古園を訪れる観光客に、見せる、楽しませる、そして拡散してもらう仕組み作りとして、QRコード等がついた看板を作るべきではないか。その際、ガイド協会、観光協会、そして学芸員やそういった識見のある方の意見も取り入れ、市民協働的な組織を早急に立ち上げるべき。

経済部長

しっかりとした検討をする組織を作る必要があると感じています。

質問

地元のフィルムコミッションの協働で進めている懐古園図面を基にした城内の建物を復元した3Dの映像を駆使したものを作る研究を今からぜひ私は進めてほしい。

経済部長

今後は必要だと考えています。

「保育士・特別支援・地域おこし協力隊員」の課題と対策はどうか



竹内 健一
(創正会)

教育長

重度障がい児7人を受け入れています。他の児童と一緒に園生活を送ることこそが、非常に心の教育につながり重要です。

質問

加配職員の状況はどうか。

教育長

対象児童23人に対して、支援保育士16人を配置しています。

質問

認定こども園への移行の取り組みはどうか。

教育長

公立保育園のみが先行せずに、私立幼稚園・保育園の動向も見極めて新制度の財源が確定、成熟した段階で検討していきます。

質問

地域おこし協力隊員の正規職員採用はできないか。また定住へと促せないか。

市長

3年間の予定で2名を採用し移住につながっていますが、正規職員への採用は難しいです。

障がい児の通所、相談支援等で対応しています。今後市単独事業を増やすのは難しいですが、福祉向上に取り組んでいきます。

質問

保育園での重度障がい児の現在の状況と対応はどうか。

持続可能な小諸市の羅針盤とは
公共施設等の現状及び将来の見通しは



林 稔
(無所属)

見通しはどうか。再編・再配置を考える上で必要な「公共施設白書」はいつ公表できるか。

市長

「公共施設等総合管理計画」は、施設及びインフラ資産である上下水道・道路や橋梁を含むすべての資産を対象とした計画です。今年度は固定資産台帳の整備に着手しており、施設の現状について、整備状況や耐震化の状況・更新費用予測・支出可能額等の財政情報を盛り込み、今年度末までに「公共施設白書」を公表する予定です。

質問

社協が旧保健センターに移転する。社協跡地・臨時図書館跡地などの活用はどう考えるか。

総務部長

本来なら公共施設管理計画の中で示すべきだが、28年度に策定になるので待ってられないため、政策会議の中で近いうちに議論を始める予定になっています。

質問

公共施設等の現状及び将来の

これまでは実態として整合が十分に図られていたとは言えない状況でした。各計画間の整合を図るために計画期間や策定作業も同時に進めることが合理的と考えています。各個別計画の所管課担当者が総合計画との整合性を強く意識して取り組み、役割分担を明確にして計画のスムーズ化と分かりやすい計画体系の構築を目指します。

「グリーンヒルこもろ」の進捗は順当なものであるか 六次産業の目指すものはなにか

質問

特殊な建設工事なうえ、人手不足や資材不足などを伴う工事であったと認識しています。供用開始に向けての進捗はどうか。

市長

建設事業の進捗については、地元の菱野区を始め、大変多くの市民の皆様のご協力により順調に進めております。予定どおり12月15日竣工、来年1月4日供用開始に向けて進めています。

質問

深井戸の進捗状況はどうか。

市長

8月上旬に126mまで掘削を終了し、日量100トン以上の水量確保の見込みです。工場として必



依田善典 (創正会)

要な日量は70tですので、十分な水量と考えます。

質問

菱野区との環境保全協議会は、どのように進めていくのか。

市長

環境保全協議会は、施設の排ガス等の測定記録、施設周辺及び菱野区の環境測定記録、施設の操業及び管理の状況などを調査及び審議する機関として、来年3月に設立の見通しです。

質問

市長の進めようとしている六次産業化はどのようなものか。

市長

一次から三次産業に至る全産業を統合的かつ一体的に推進することにより、小諸市の豊かな自然や気候及び風土の中で生産された地域の食材等を活用して、新たな付加価値を生み出すとともに小諸の活力につなげたいと考えています。

基本構想がめざす姿として共有され 常に念頭にあったか

質問

新庁舎等のランニングコストおよびその管理方法はどのようになりますか。

総務課長

維持管理コストは通年経費の試算で約1億100万円程度。維持管理については、施設を一体的に総合管理する業者委託とし、プロポーザルを実施して、最終候補は清水ビルライフケアです。

質問

現在、小諸市では第5次基本構想を策定中ですが、策定後の基本構想と向き合う姿勢を確認する意味で、小諸市庁舎整備基本構想はどのように生かされたかお尋ねします。中でも防災拠



神津眞美子 (新政会)

点としての庁舎整備をめざすとありますが、電線地中化は検討されなかったのですか。

建設部長

検討しましたができなかったのが現状です。しかし、今後も検討していきたいと思えます。

質問

環境に配慮した庁舎とありますが、外構の正面玄関に至る前庭は如何でしょうか。

企画課長

現状の植栽については、今後も引き続き研究させていただきたいと思えます。

質問

基本構想がめざす姿として共有され、50年・100年先の礎づくりを市民の貴重な税金を使って実施しているという意識が職員に常にあったかというところが非常に疑問ですが、如何ですか。

市長

多々反省すべき点もございまして、たいへん重く受けとめさせていただきます。

地域産業を支援する「産業振興条例」の策定が必要ではないか



柏木博美
(日本共産党)

創設の考えはあるか。

市長

商店街は非常に厳しい状況にあると感じています。各個店が一步を踏み出すきっかけになるなら、他の助成制度との関連も考慮し、検討が必要と考えます。

質問

下の子どもの出産で親が育児休業を取ると、通園している未満児は退園することになっている。柔軟な対応ができないか。

教育長

何とかしたいという課題は持っているが、保育士の確保が難しいです。条件が整ってきたら受け入れたいとは考えています。

質問

子どもの医療費無料化では、一旦、医療機関の窓口で支払うことの負担は大きい。窓口無料化の考えはどうか。

市長

医療費に対する財政負担は増大しており、厳しい財政状況下では困難であると考えます。

質問
地域産業を担っている事業者や従業員の困難への対応策を講ずる「産業振興条例」の策定について何度か質問してきた。市もその重要性を認識しながら、なぜ何もしてこなかったのか。

経済部長
具体的な検討の指示が遅かったと捉えています。できるだけ時期を明確にしながら指示を出し直したいと考えています。

質問
コンパクトシティづくりを進めるうえで中心市街地の活性化は欠かせない。今頑張っている既存商店等への応援、支援のための「商店版リフォーム制度」

議員研修会

決算議会に向けて

議員と行政執行部の合同研究会

8月7日

講師は早稲田大学マニユフェスト研究所の中村健氏。過去に徳島県川島町の町長を2期務めたこともある地方自治の在り方の専門家です。今回の研修会のポイントは、市の部長さん達といっしょに研修を受けたことでしょう。今後の事業計画や総合戦略の策定にあたり、市の部長さん達と計画の目標値の設定方法や評価方法を意思統一できたことは我々議員にとっても大きな財産です。

今後はこれを実行することで小諸市の役に立ちたいと思います。

(高橋公議員)



佐久市・小諸市議会議員合同研修会

これからの野生鳥獣管理について

8月21日

まず初めに小諸市の事例発表として野生鳥獣専門員の竹下毅さんから発表がありました。平成23年から26年までの駆除班と実施隊の活動内容の説明があり、平成27年度からは、有害鳥獣駆除委託事業を廃止、実施隊を改編したことにより、今年度は捕獲頭数が増加したとの報告がありました。

続いて「これからの野生鳥獣管理について」鳥獣保護管理プランナーの浅田正彦さんの講演会を聞きました。獣害対策の自助・共助・公助の役割りの明確化を学びました。

(土屋利江議員)



9月11日
まち再生
特別委員会
報告

6月定例会以降の、各部会の活動、確認された今後の活動方針の主なものを報告します。

にぎわいづくり部会

中心市街地に何を求めるか、その可能な手立ては何かについて、様々な議論を重ねてきました。

◎岩村田本町商店街視察
近隣の取り組み事例として、現状から見える課題の具現化に大きな示唆を受けました。



岩村田本町商店街視察

◎意見交換会を開催
延149名が参加



意見交換会の様子

市民、関係者、関係団体との意見交換会を9回開催しました。世代、環境によって中心市街地への期待や思いなど様々なご意見をうかがうことができました。

今後は、出されたご意見について、引き続き可能性を探るとともに、その経過を市民の皆さんに報告し、「協働のまちづくり」の実現を目指していきます。

公共交通部会

「市内の公共交通の利便性を提供する施策」という観点から、これまでの部会で出された意見等については、議会選出の委員が「小諸市コミュニティ交通協議会」の中で、意見を出していくこととし、新システムの試験運行の事業の行方と進捗状況を注視してきました。



◎先進地視察と利用者の聞き取り調査を行います

試験運行形態と事業者が決まり、10月から試験運行が始まります。今後は、試験運行形態を踏まえ、事業の先進地視察を行い、試験運行の状況や利用者の意見を聞き取る

ことなど、利便性の向上と賑わいのあるまちづくりの実現に向けての本運行につながるよう、調査研究を進めていきます。

特別委員会の考え方

両部会からの報告を受け、現時点での課題や問題点の整理を行いながら意見を出し合いました。また、今までの部会の議論や市民との意見交換会を踏まえ、委員間で討論を行い、次のような意見が出されました。

◎中心市街地とは

●市民サービスの拠点となる市庁舎、図書館、市民交流センターが整備されたので、行政、医療、福祉の機能の集中が必要ではないか。

●小諸市の顔として、明るく元気なまちの象徴でなくてはならないのではないか。

●小諸市全体のまちづくりでは、人口減少、少子高齢化が進む中、中心市街地や郊外、農村

部などそれぞれの地域の役割を明確化し、その機能を強化していく構想が必要ではないか。

◎今後の活動方針

どのような機能を有することで市民が望み、集える中心市街地にできるか、今までの意見交換会や調査してきたことを踏まえ、議会としてのビジョンを明確にし、10月下旬頃に行政へ提言書の提出を行うこととしました。



相生町商店街

議会制度改革
検討委員会
報告

小諸市議会では、8月25日に「議会制度改革検討委員会」を設置しました。市民に、より信頼され、開かれた議会とするため、議会改革に係わる調査・研究や提言を行うことを目的として、議会基本条例の制定を目指します。

第1回の会議を9月11日に開催し、委員長・副委員長の選出と要綱について検討しました。委員長に柏木今朝男議員が、副委員長に高橋公

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 柏木今朝男 |
| 副委員長 | 高橋 公 |
| 委員 | 小林 一彦 |
| 〃 | 竹内 健一 |
| 〃 | 清水喜久男 |
| 〃 | 依田 善典 |
| 〃 | 中村 憲次 |
| 〃 | 福島 鶴子 |
| 〃 | 柏木 博美 |

平成27年度 議会と語る会 を開催します

住みよい小諸市のため一緒に語りましょう
(子育て支援など、なんでも)

■開催日時・会場、各会場 午後7時～9時

開催日	会場	対象地区
11月2日(月)	市役所4階	東部・中部・西部・東南部
11月4日(水)	諸公民館	大里・西小諸
11月5日(木)	柏木上生活改善センター	北大井
11月6日(金)	JA佐久浅間三岡支所	三岡
11月10日(火)	御影コミュニティセンター	南大井
11月11日(水)	久保公民館	川辺

※どちらの会場でも、自由にご参加いただけます。

小諸市議会では、議会の活動や市政の課題等を共有するとともに、市民の皆様から議会や市政に対する提言、意見等をお聞きし、小諸市の発展に活かすため、議会と語る会を開催しています。今回は、意見交換の場を多くの方から気軽に意見を出してもらえたいと考えております。多くの皆様のご参加をお待ちしております。



編集後記

私が生まれた1964年1月に新築落成された旧庁舎が、9月をもって閉庁しました。この51年の歴史の中に様々なドラマがあったに違いありません。当然ながら議会の中においても、同様のことがありました。

市民の拠りどころであった旧庁舎もじきに解体され、2年後には、市民のいのちと健康を守る皆の総合病院として生まれ変わろうとしています。

本年は、相次ぐ大型公共事業が完成を迎え、市庁舎はじめ、図書館・こもろプラザ、新ごみ焼却施設が竣工し、大型事業はほぼ完了します。

今後は、老朽化のすすむ小学校

や消防署の建て替えが、急務となつていきます。この間の相次ぐ大型事業の影響で、市の財政にも影響を及ぼすのではないかと心配する市民の声も少なくありません。市の財政が一層厳しくなる中、議会の役割はより一層重要になっていきます。

そういった中では、市民協働で進めなければならない課題が、今後増々増加する傾向にあると思われれます。

自治基本条例には「協働のまちづくりの推進のために、市議会と市の執行機関は、必要な施策を実施する」とあり、今後これに則り、議会の果たす役割が、増々重要になってきます。

(聖)

傍聴席



森山区
小泉 邦子 さん

旧庁舎での最後の市議会でもあり、又地元議員さんから案内も頂きましたので主人と初めて傍聴させて頂きました。

傍聴したのは一番に登壇した地元議員さんのAEDに関しての一般質問でした。

私もAEDの重要性を日頃から考えており、興味深く聞かせて頂きました。

資料収集には地元はもとより遠くは木曾路まで出向き、そこでは様々な工夫でAEDをオールシーズン24時間の屋外設置を達成しているとの報告と各種質問でした。

小諸市でも早急に検討するとの市長の答弁がありました。

傍聴していて、テンポよく進行されていく中で、質問している議員さんや、市長さん・部長さん方の確かな質問・答弁に好感を持ちました。

私もこれからは出来る限り傍聴席に足を運び、市民の一人として行政に関心を持っていきたいと思っております。

また議会とは別ですが、10月から試験運行するデマンドタクシーは高齢者が多く利用すると思いますが、ぜひ丁寧な説明をお願いいたします。

